

組織名	押辺地区環境保全協議会				
対象農用地	農業用施設				■ 農地維持
【農地維持】 59.2 ha	開水路	パイプライン	農道	ため池	■ 資源向上 (農村環境保全活動まで)
【資源向上】 59.2 ha	16.5 km	15.6 km	23.9 km	9 箇所	■ 資源向上 (多面的機能の増進)
農業者 約	165 名	活動開始年度	平成 19 年度	活動	12 年目
農業者以外の構成団体	上・下押辺区、上・下公民館、下池・田殿池・野口池・白旗池水利組合、上・下押辺子供会育成会、下押辺高砂会、長寿会、笠間市消防団第27分団、八龍会、女性会、防犯パトロール、八龍・鹿島神社				
地域の概略	本地域はJR岩間駅から東に4km程、一級河川涸沼川の右岸に位置し、県営ほ場整備事業岩間地区換地4工区(昭和40年代後半)によって整備された水田地帯です。この事業を始める以前は、2つの自治会及び各水利組合が別々に農業用施設を管理してきました。				

◆上半期の活動報告◆

令和2年度の総会

いつ:4月



令和2年度の総会を開催しました。新型コロナウイルスの感染予防の観点から屋外で行いました。


いつ:5月

排水路及び農道の草刈りを実施しました。



いつ:6月

農用地、水路、道路、ため池の点検及び機能診断を実施しました。



いつ:6月

現場での点検、機能診断を踏まえて、今年度の実施計画を策定しました。密にならないように配慮して行いました。



◆休耕地を利用した景観形成◆

ひまわり畑の種まきと除草



いつ:8月

休耕地を利用した、ひまわり畑の種まきと除草を実施しました。

◆今後の展望◆

担い手への集積が進むなかで、排水路や道路脇の草刈り、こさ払い等が必要な状況が増えてきている。このため、維持活動の重要性が増してきている中で、後継者の育成が急務となっている。

◆令和2年度下半期のスケジュール◆

12月	希少種生息地の草刈り
12月	水路付近のこさ払い
1月	排水路、農道、堤体の芝焼き
2月	機場の点検
2月	排水路の泥上げ、補修